

開成町 橋梁長寿命化修繕計画



令和2年3月(改定)



開成町 街づくり推進課

開成町 橋梁長寿命化修繕計画

1. 長寿命化修繕計画の目的.....	1
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁.....	1
3. 健全性の把握及び維持管理に関する基本的な方針	2
4. 長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針	2
5. 対象橋梁ごとの概ね次回点検時期及び修繕内容と時期	2
6. 長寿命化修繕計画による効果	3
7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者	3

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

○ 平成 26 年 7 月に道路法施行規則の一部が改正されたため橋長 2m 以上の橋梁について、5 年に 1 回の定期点検を基本とすることとなり、平成 26 年度から平成 30 年度にかけて橋長 2m 以上の橋梁 90 橋の定期点検を実施したため、橋梁長寿命化修繕計画を見直します。

2) 目的

○ 「開成町橋梁長寿命化修繕計画」は、今後増大する橋梁への対策として、従来の事後的な修繕(損傷が顕著化してから補修)から、予防的な修繕(損傷が軽微なうちに補修)へと転換することで、地域道路網の安全性と信頼性を確保すると同時に、維持管理に係る費用の縮減を図ることを目的とします。

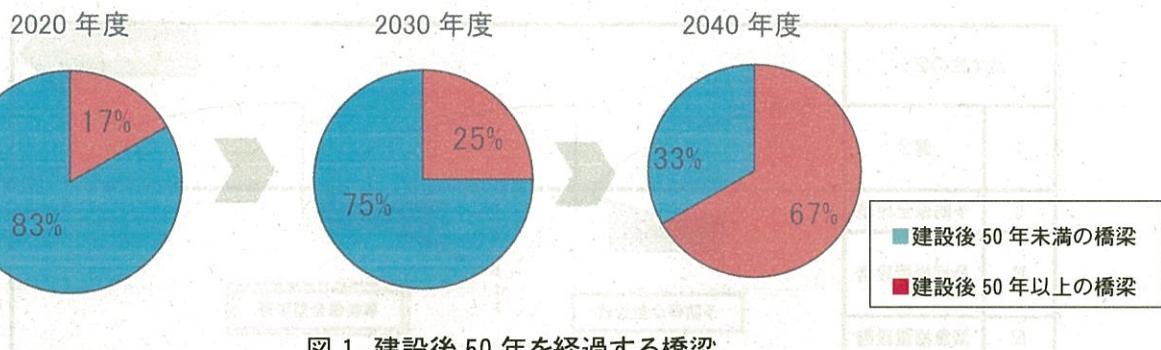


図 1 建設後 50 年を経過する橋梁

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

平成 26 年度から平成 30 年度にかけて、開成町が管理する橋梁 90 橋の定期点検を実施したため、長寿命化修繕計画を改定します。

表1 長寿命化修繕計画対象橋梁数

	鋼橋	P C 橋	R C 橋	計
計画対象橋梁	1	10	79	90

長寿命化修繕計画対象橋梁の条件

- ・橋の長さ $\geq 2\text{m}$

3. 健全性の把握及び維持管理に関する基本的な方針

1) 健全性の把握の基本的な方針

健全性は、神奈川県市町村版定期点検要領(案)【橋梁編】平成29年2月に基づいて、5年に1度の頻度を基本とした定期点検により把握します。

2) 維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、定期的に「道路パトロール」を実施し、清掃や土砂詰まりの除去等、比較的対応が容易なものについて措置します。

4. 長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

定期点検及び小規模修繕を継続することで、健全度を維持しながら長寿命化を図る予防保全型の維持管理を導入(図2)し、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

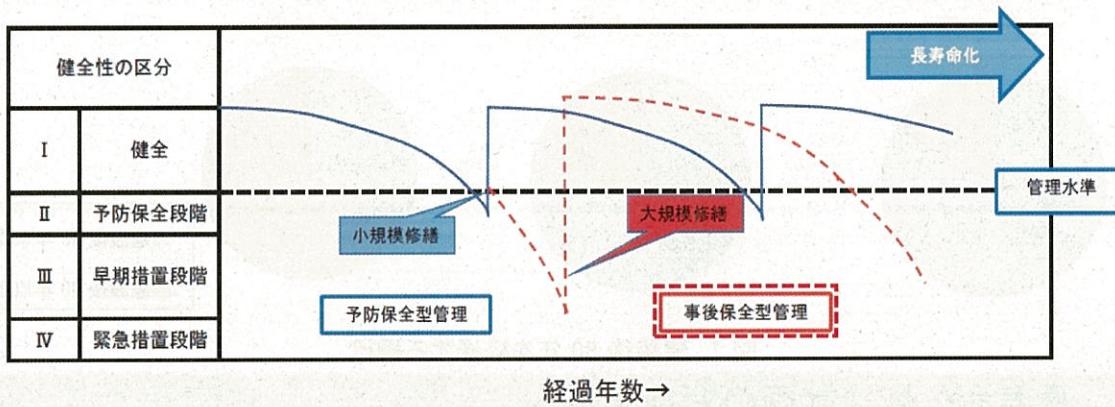


図2 管理シナリオの考え方

5. 対象橋梁ごとの概ね次回点検時期及び修繕内容と時期

基本方針を基に、90橋を5年毎に点検を実施し、その結果に基づき次回点検までに修繕内容及び時期を検討します。

6. 長寿命化修繕計画による効果

予防保全型の管理を基本とした長寿命化修繕計画の実施により、従来の事後保全型の維持管理と比較して、50年間で約11.8億円のコスト縮減を見込んでおります。

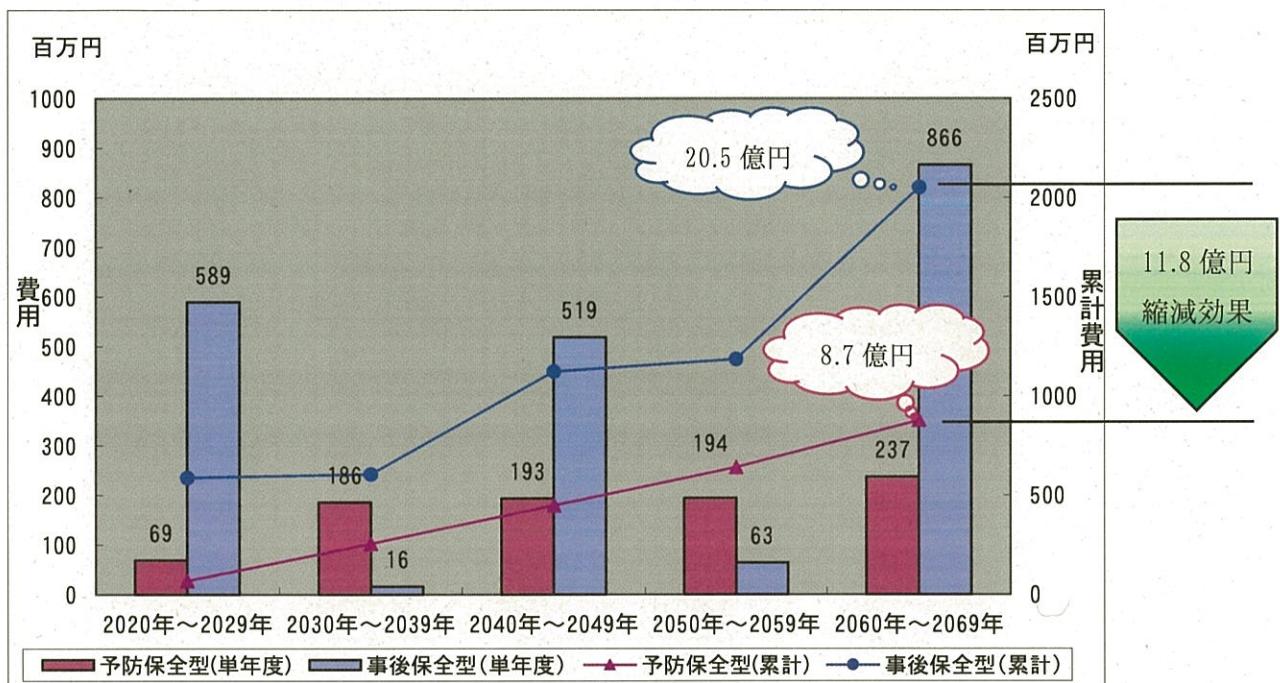


図3 長寿命化修繕計画による縮減効果

7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

開成町 街づくり推進課 TEL:0465-84-0321

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

関東学院大学 理工学部

出雲 淳一 教授

横浜国立大学 大学院 都市イノベーション研究院 勝地 弘 教授

